



FM システムを開発・製造しているフォナックのスイス本社に補聴器、人工内耳と一緒にFM システムを普段の生活で使っている社員がいます。
今回はそのベンさんに FM システムについてインタビューをしました。



Benjamin Heldner

Phonak Communications AG

FM テクニカルサポート スペシャリスト。

右耳にメドエル社 オーパス、左耳にナイーダ UP を装用。

送信機は SmartLink+、受信機は MyLink+ を使用中。

母国語のドイツ語の他、第2言語として英語を習得している。

質問 ① : 今のお仕事は何ですか？

私はフォナックのスイス本社で FM 製品のテクニカルサポートの仕事をしています。フォナックは世界 90 カ国以上にあり、それぞれの国の担当者から寄せられる技術的な問い合わせに対応しています。大学生の夏休みのとき、インターンシップでフォナックで働く機会があり、それがきっかけで大学を卒業してすぐにフォナックで働き始めました。



質問 ② : いつから FM システムを使い始めましたか？

もう 20 年以上も前になりますが、小学校に通い始めたときから FM システムを使っています。FM システムは先生の声を聞くのに非常に便利で、大切な存在でした。ろう学校は自宅から離れていたため、普通学校に通うことができ、本当に良かったです。

質問 ③ : 大学生のときも FM システムを使っていましたか？

実は大学 1 年生のときは FM システムを使っていませんでした。その理由はスイスは高校まで FM システムが無償で支給されるのですが、大学ではそれがありません。そのため大学では常に一番前の席に座って集中して先生の話を聞いていました。集中していれば先生の話を理解することはできたので、さほど問題ではありませんでしたが、FM システムを持っていれば、教室の後ろに座ることができたんだろうと思います。

質問 ④ : 自分で FM システムを購入したのはいつですか？

20 歳のときです。当時私は健聴の人と同じように外出だっ
てほしいし、友達とたくさん会いたいと思っていました。
でもレストランなど騒がしい場所での会話が本当に難しく、
とても悩んでいました。そこで自分用の FM システムを初
めて購入したのですが、FM システムは私の生活を大きく変
えました。特に騒がしい環境でのコミュニケーションが楽
になり、行動範囲も広がりました。実は FM システムのお
かげで、女の子とデートできるようになったんですよ。



質問 ⑤ : FM システムを使う理由を教えてください。

私は補聴器や人工内耳だけでは聞き取りが難し
い環境でいつも FM システムを使っています。
私はやりたいことは何でもやりたいし、難聴だ
からと言って自分の活動範囲を狭くしたくない
のです。聞き取りが難しいバーやレストランに
だって FM システムを持って行き、使っていま
す。そうすれば友達の話がしっかり聞こえ、会
話を楽しむことができます。



質問 ⑥ : どのように FM システムを使っていますか？

会社では 6 名以上の打ち合わせがあるときにテーブルの真ん中
に私の送信機を置いて使っています。誰かが前に立ってプレゼ
ンをするときはプレゼンターに送信機を装着してもらいます。
そうすれば部屋の後ろに座っていても話を聞くことができるの
で本当に便利です。また社員食堂にも FM システムを持って行
き、ランチを食べながら同僚の話を聞いています。



プライベートでもいつも FM システムを持ち歩いて、騒がしい
環境で使っています。例えば電車やバスなどの公共交通機関、
バー、音楽のイベントや室内で大勢の人が集まるようなイベ
ントで使っています。このような環境では話し手に送信機を持
ってもらうのではなく、私が送信機を手で持って、話し手の口元
に送信機を向けます。そうすると騒音がある場所でも聞きたい
声をしっかり拾ってくれるので、とても快適です。

